

甲第五十三号

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/585

甲第五十三號

明治二十九年一月七日配付

第四節 離婚

第一款 協議上ノ離婚

第八百十八條 夫婦ハ其協議ヲ以テ離婚ヲ爲スコトヲ得

(參照)八七八六年五月十五日 舊十五年十月二十日 內務省損

佛舊二三三 附二六三 伊一四八 ダォー一 二六 白草二二七 獨

一章一四四〇 一項同二章一四五九 一項索一七一

第八百十九條 滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離婚

ヲ爲スニハ其家又ハ實家ニ在ル父母ノ承諾ヲ得ルコト

ヲ要ス此場合ニ於テハ第七百八十三條第二項第三項及

ヒ第七百八十四條ノ規定ヲ準用ス

(參照)八七九 佛舊二七五 同二七八

第八百二十條 協議上ノ離婚ハ之ヲ戶籍吏ニ届出ツルニ

因リテ其效力ヲ生ス此場合ニ於テハ第七百八十五條ノ

規定ヲ準用ス

(參照)八八〇、八九佛舊二八一乃至二九四

第八百二十一條 前條ノ場合ニ於テ戸籍吏ハ協議ノ眞實ナルコト及ヒ前二條ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ離婚ノ届出ヲ受理スルコトヲ得ス

(參照)七八六八八〇、八九佛舊二八一乃至二九四

第八百二十二條 前二條ノ規定ニ依リテ離婚ヲ爲シタル者カ其協議ヲ以テ子ノ監護ヲ爲スヘキ者ヲ定メサシトキハ其監護ハ夫ニ屬ス
夫カ離婚ニ因リテ婚家ヲ去リタル場合ニ於テハ子ノ監護ハ妻ニ屬ス
前二項ノ規定ハ監護ノ範圍外ニ於テ父母ノ權利義務ニ變更ヲ生スルコトナシ

(參照)八九〇、寛永元年十二月二十二日御成敗式目追加開傳
叢書八年四月二十七日太政官指同年五月五日内務省指同年八月九日同省指十三年十月四日同省指二十二年四月二

十五日司法省指同年五月一日同省指同年五月十八日同省指同年同月二十八日同省指二十五年四月十八日宮崎縣例ニ對スル同省指二十七年六月二十三日徳島縣例ニ對スル同省指佛舊二八〇、三〇三、關二八五、伊一五五、都一二一二、ヴェー一五六五號ツムーリヒ六三七乃至六四一、白草二四四乃至二四六、獨一草一四五六乃至一四五八同二草一四七九乃至一四八一

第二款 裁判上ノ離婚

第八百二十三條 夫婦ノ一方ハ左ノ場合ニ限り離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

- 一 配偶者カ重婚ヲ爲シタルトキ
- 二 妻カ姦通ヲ爲シタルトキ
- 三 配偶者カ婚姻中姦淫罪ニ因リテ刑ニ處セラレ又ハ他ノ罪ニ因リテ重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 配偶者ヨリ同居ニ堪ヘサル虐待又ハ重大ナル侮辱

ヲ受ケタルトキ

五 配偶者ヨリ惡意ヲ以テ遺棄セラレタルトキ

六 配偶者カ婚姻中三年間心神ヲ喪失シ本心ニ復スル

望ナキトキ

七 配偶者ノ生死カ三年間分明ナラサルトキ

八 配偶者ノ直系尊屬ヨリ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ受

ケタルトキ

九 配偶者カ自己ノ直系尊屬ニ對シテ虐待又ハ重大ナ

ル侮辱ヲ爲シタルトキ

(參照)八八、八七戸令聽離婚條同七出竄義絶及三不去條同
聽改嫁條聽改談六年七月十四日太政官指同年十月三十日
同官指同年十一月八日同官指七年二月二日同官指同年同
月同日司法省指同年同月三日太政官指同年同月十四日司
法省指同年同月二十日太政官指同年同月同日內務省指同
年四月十九日太政官指同年同月二十五日司法省指同年五
月十九日同省指同年七月二十日太政官指同年八月十二日

司法省指同年十一月九日太政官指八年四月十四日內務省
指同年五月十五日同省指同年同月十九日同省指同年八月
五日同省指同年九月十四日同省指同年十月五日同省指同
年同月二十七日太政官指同年十一月二十四日內務省指同
年同月二十八日同省指同年十二月十四日同省指九年二月
五日同省指同年三月十三日太政官指同年五月二日內務省
指同年六月十五日太政官指十年十月二十日內務省指十一
年二月一日同省指同年六月十九日同省指同年七月七日同
省回答同年七月十一日同省指同年十二月二十三日同省指
十二年十二月二十二日同省指十三年四月十九日同省指同
年六月二十九日同省指同年九月十四日同省指同年十月四
日同省指同年十二月二日同省指十六年一月六日同省指同
年九月十二日同省指十七年五月九日太政官指十八年二月
二十六日內務省指同年七月二十九日同省指二十二年八月
九日司法省回答二十三年二月三日同省指二十五年十月十
四日岩手縣伺ニ對スル同省指二十六年二月十一日青森縣
伺ニ對スル同省回答二十四年十月五日大審院判決佛二二
九乃至二三二、埃一一五一一六、蘭二六四二六五、伊一五〇万

至一五二葡一二〇四瑞千八百七十四年十二月二十四日法
四三四五乃至四七西一〇五白草二二八二二九二三二獨一
章一四四〇乃至一四四四同二章一四五九乃至一四六四普
二部一章六六九以下索一七一二以下

第八百二十四條 前條第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ夫
婦ノ一方カ他ノ一方ノ行爲ニ同意シタルトキハ離婚ノ
訴ヲ提起スルコトヲ得ス

同條第一號乃至第五號及ヒ第八號ノ場合ニ於テ夫婦ノ
一方カ他ノ一方又ハ其直系尊屬ノ行爲ヲ宥恕シタルト
キ亦同シ

(參照)佛二四四蘭二七一伊一五三瑞千八百七十四年十二月
二十四日法四七白草二三六二三七獨一章一四四一、二項一
四四六同二章一四六五

第八百二十五條 第八百二十三條第三號ニ掲ケタル處刑
ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其配偶者ノ處刑ヲ理由トシテ離
婚ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

(參照)八八二

第八百二十六條

第八百二十三條第一號乃至第五號第八
號及ヒ第九號ノ場合ニ於テ離婚ノ訴ハ之ヲ提起スル權
利ヲ有スル者カ離婚ノ原因タル事實ヲ知リタル時ヨリ
一年ヲ經過シタル後ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス其事實
發生ノ時ヨリ十年ヲ經過シタル後亦同シ

(參照)蘭二六六二七三二七四獨一章一四四七同二章一四六
六一四六七索一七三九

第八百二十七條 法定代理人ハ本人ニ代リテ離婚ノ訴ヲ
提起スルコトヲ得ス

(參照)八八七白草二二九二三〇

第八百二十八條 離婚ノ訴ハ判決確定前ニ夫婦ノ一方カ
死亡シタルトキハ其效力ヲ失フ

(參照)八八九一四一佛二四四三項蘭二七五白草二二九獨一
章一四五二同二章一四七〇

第八百二十九條 夫婦ノ一方ノ過失ニ因リテ離婚ノ判決

アリタルトキハ其一方ハ他ノ一方カ自活スルコト能ハサル場合ニ於テ之ヲ扶養スル義務ヲ負フ

第八百二十三條第六號ノ場合ニ於テハ離婚ノ訴ヲ提起シタル者ヨリ其配偶者ヲ扶養スルコトヲ要ス

前二項ニ定メタル義務ハ夫婦ノ一方カ死亡シ又ハ扶養ヲ受クル權利ヲ有スル者カ再婚シタルトキハ消滅ス

(參照)佛三〇、蘭二八〇乃至二八二、伊一五六三項、瑞千八百七十四年十二月二十四日法四九、ウオー一五六一、六、ダラウビュンデン五三、ウーリヒ六二九乃至六三六、白草二五二、獨一草一四五四、同二草一四七二乃至一四七七

第八百三十條 第八百二十二條ノ規定ハ裁判上ノ離婚ニ之ヲ準用ス但裁判所ハ子ノ利益ノ爲メ其監護ニ付キ之ニ異ナリタル處分ヲ命スルコトヲ得

(參照)入九〇、寛永元年十二月二十二日御成敗式目追加開傳叢書八年四月二十七日太政官損同年五月五日内務省損同年八月九日同省損十三年十月四日同省損二十二年四月二

十五日司法省損同年五月一日同省損同年五月十八日同省損同年同月二十八日同省損二十五年四月十八日宮崎縣伺ニ對スル同省損二十七年六月二十三日徳島縣伺ニ對スル同省損佛三〇、二三〇三、蘭二八四二八、伊一五四一五五、葡一二一二、瑞千八百七十四年十二月二十四日法四九、ウオー一五六、ウーリヒ六三乃至六四、白草二四三乃至二四六、獨一草一四五六乃至一四五八、同二草一四七九乃至一四八一